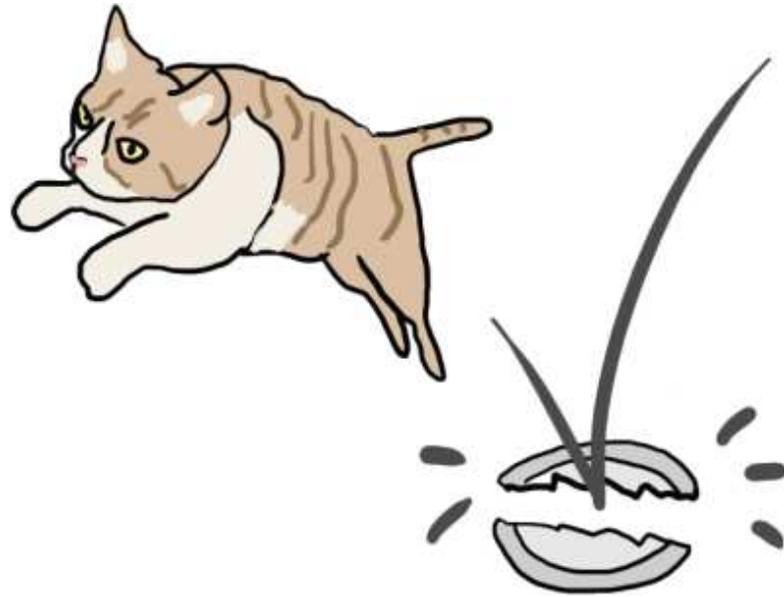


罰は不信を生む

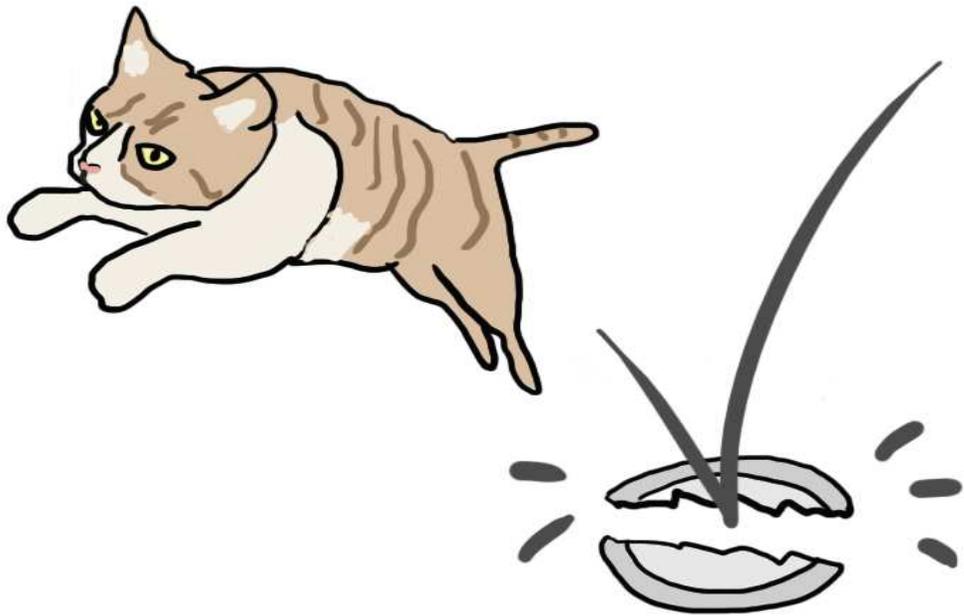


東郷 潤

お母さんと子供がいます。お母さんは子供が何か悪いことをするたびに、厳しく罰を与えます。



ある日、猫のせいで、お皿が1枚割れてしまいました。



子供には何の責任もありません。



あなたね、
お皿を割ったの？

子供は正直に答えました。

ううん、
ぼくじゃないよ

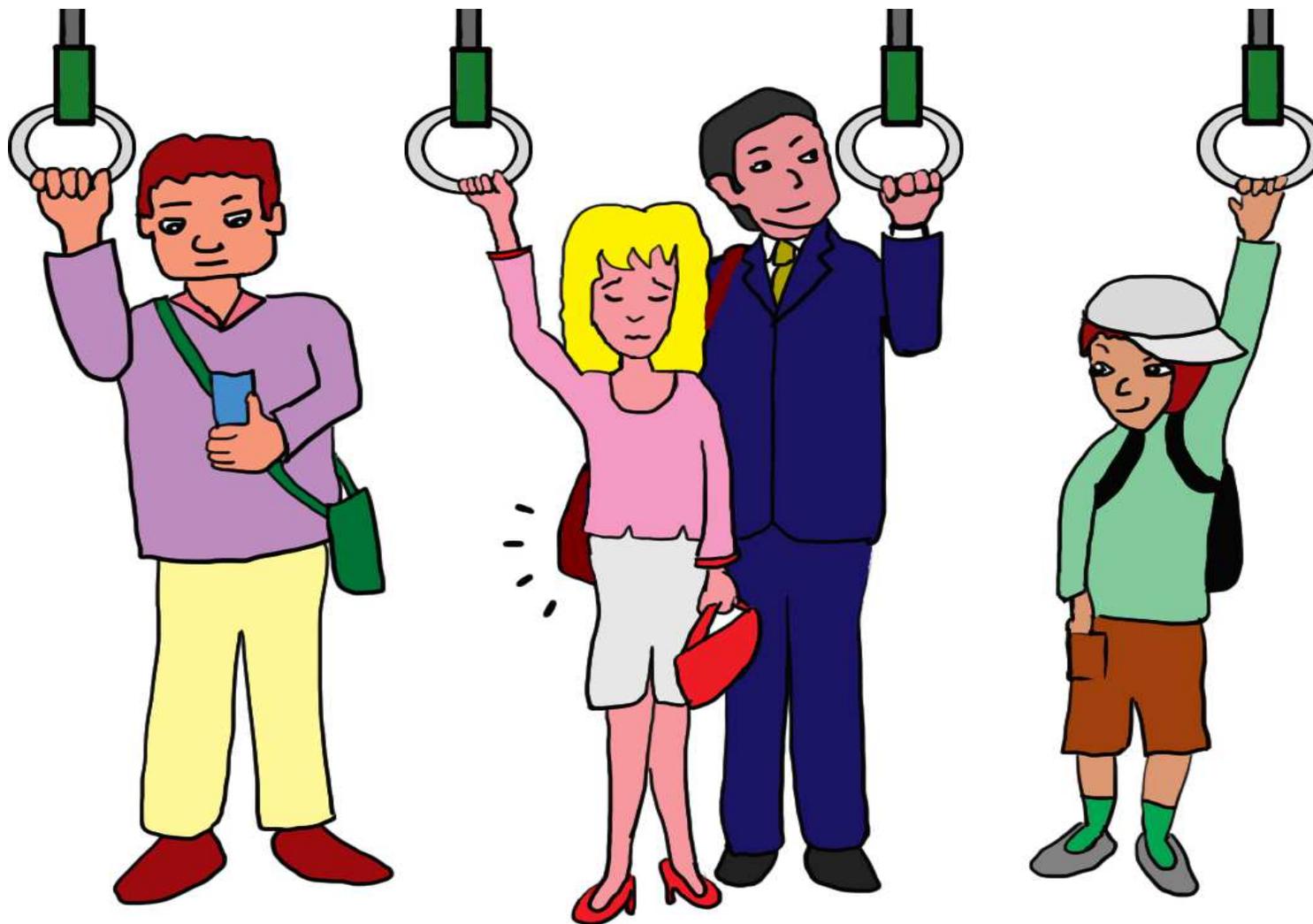




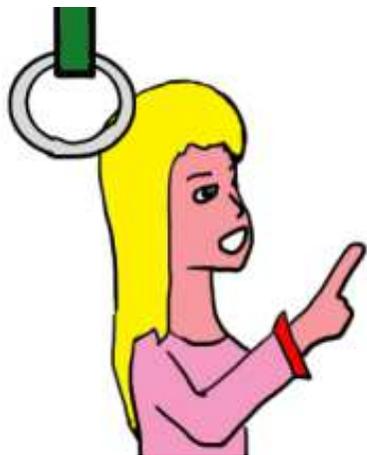
**罰が怖いからって
出まかせ言って！**

**あなたの嘘を
信じるとでも思う！？**

電車の中で、偶然、男の人のカバンが、女性のお尻に触れました。もちろん、痴漢などではありません。



女性が勇気を出して、言いました。

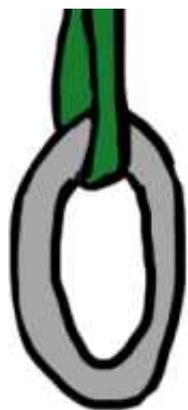


あなた、痴漢でしょ!?

その人は、正直に答えました。

え?
僕は痴漢なんか
していないよ





嘘つき！

**刑務所に行くのが
怖いよね！？**

**あなたの話なんか、
誰が信じるものですか！**

犯罪とは無関係な人がいます。



そこへ警官がやってきました。



おいちょっと待て。

さっき窃盗事件があった。
犯人はお前だな？

その人は正直に答えました。

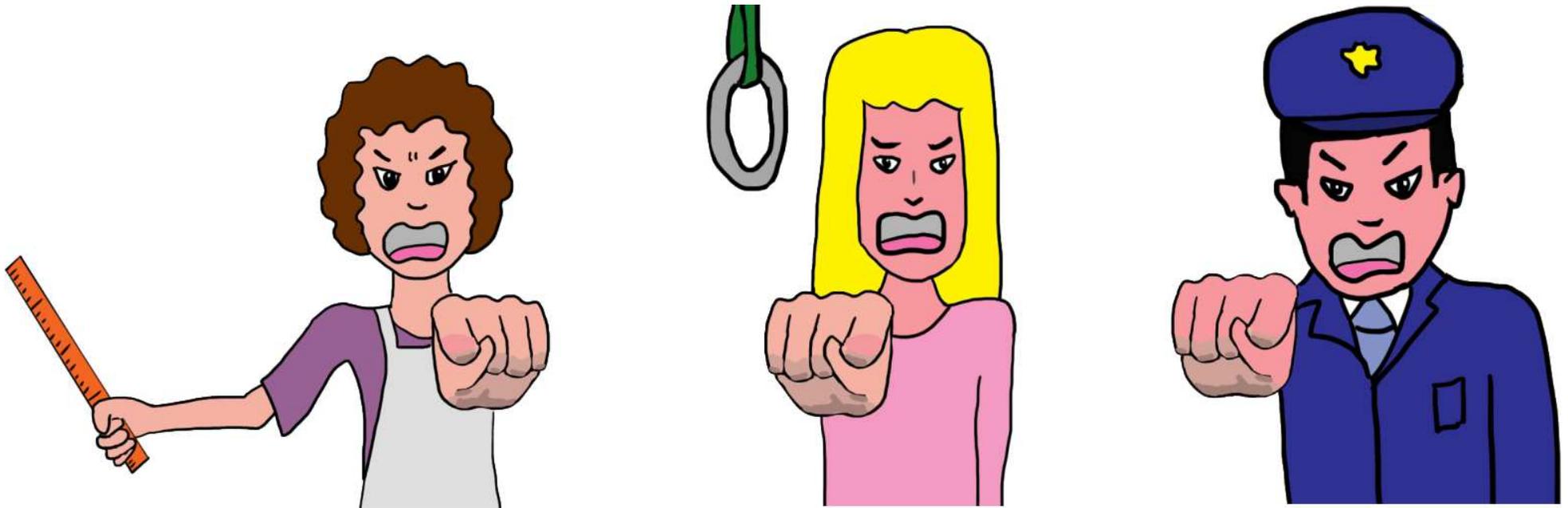
い、いえ！ 違います





**捕まるのが怖いのか？
この泥棒め！**

罰は、不信を生みます。



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。
また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017